



春まき小麦 多収のポイントは「早期は種」！！

春まき小麦のは種時期が近づいてきました。
ほ場の乾燥を促し、春まき小麦の早期は種に努めましょう！！

☆春まき小麦は4月中旬までには種しましょう！！

は種時期	は種量	窒素施肥量	施肥例
4月中旬～下旬	13kg/10a	4～8kg/10a	082またはBB082 40kg/10a（低地土） ～ 80kg/10a（台地土）

*春よ恋 本年の千粒重は約42gです。

昨年の39gより若干重くなっていますので、薄播きにご注意下さい。

① は種時期

は種時期が遅れると、千粒重が軽くなり歩留まりが低下する。

② は種量

は種量が多すぎると倒伏しやすくなり、は種量が少なすぎると遅れ穂が増えて減収の要因となる。

③ 施肥量

基肥として全量～半量施用する。基肥を減らして、分肥を行う場合は、止葉期～出穂期（6月中旬頃）に硫安20kg/10aを施用する。

☆ほ場の準備（早期は種に向けて）

① 排水対策

小麦は湿害に弱く、ほ場の排水性の善し悪しが生育や収量・品質に大きく影響します。特に、水田転換畑では排水性の劣る場合が多いので、ほ場の条件に応じた排水対策を実施しましょう。

② 土壌pHの調整（目標pH5.5～5.8）

ほ場のpHが低いと、根の生育阻害・要素欠乏・微生物の活動低下につながるためpH調整をしましょう。

☆除草剤の早めの処理で十分に除草対策を行いましょう。

薬 剤 名	適用 雑草	使用時期	使用量	水量	使用方法	使用 回数
ゴーゴーサン 乳剤	1年生 雑草	は種後 ～小麦2葉期 (雑草発生前 ～イネ科雑草 1葉期まで)	300～ 500mL	70～ 100L	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	1回
MCP ソーダ塩	1年生 雑草 及び多 年生広 葉雑草	麦の5葉期 (但し収穫45日前 まで)	200～ 300g	25～ 100L	雑草茎葉散布	1回
ガルシア フロアブル*	1年生 雑草	小麦1～3葉期 (雑草発生始期)	200mL	70～ 100L	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	1回
ボクサー*	1年生 雑草	は種後出芽前 ～出芽揃期 (雑草発生前 ～発生始期)	400～ 500mL	100L	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	2回 以内
ガレース 乳剤*	1年生 雑草	は種後出芽前 (雑草発生前) ----- 小麦1～3葉期 (雑草発生前 ～発生始期)	200mL～ 250mL ----- 100～ 150mL	----- 100L	全面土壌散布 ----- 雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	1回

* 印の薬剤は砂土での使用は避ける。

○●適正管理で目指せ！ 1等Aランク●○